

近美コレクション2020



松岡映丘《花のあした》1933年 絹本彩色・軸〔展示期間：11月21日(土)～1月11日(月)〕

日本の美

2020年11月21日(土)～2021年2月14日(日)

会期中、浮世絵の総入れ替えを2回、 日本画の一部の展示替えを1回行います。	浮世絵	前期 11/21(土)～12/20(日)	中期 12/22(火)～1/17(日)	後期 1/19(火)～2/14(日)
	日本画	前期 11/21(土)～1/11(月)		後期 1/13(水)～2/14(日)

「日本の美」とはなにか、それはこの国に暮らす人々の歴史や生活、感性に根ざし、実に幅広い観点からとらえられるものでしょう。美術においても、日本独自の文化と多様に結びつき、多くの作品が生み出されてきました。

本展では、日本の伝統的な主題や技法を用い、その特徴をとらえやすい作品を、当館のコレクションのうち浮世絵、近現代の日本画、ガラスの各ジャンルから選んで展覧します。各作品のさまざまな表現にふれながら、そこに「日本の美」を見出していれば幸いです。

開館時間／9:30～17:00（入場は16:30まで）
休館日／月曜日（ただし11月23日、1月11日を除く）
11月24日、12月29日～1月3日、1月12日
観覧料／一般510(420)円、高大生250(170)円
会場／北海道立近代美術館 展示室A
主催／北海道立近代美術館
後援／札幌市、札幌市教育委員会
お問合せ／011-644-6882
<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/knb/>

[同時開催]

この1点を見てほしい。
マルク・シャガール 《パリの空に花》

※詳細は最後の頁をご覧ください

日本の美

うきよびじんはなやぎくらべ いき しゃれ あで
浮世美人華麗競 ——粋でお洒落で艶やかで

☆500点におよぶ当館浮世絵版画(錦絵)のコレクションから、歌川国貞、溪斎英泉、歌川国芳ら、江戸後期の浮世絵師による美人画の秀作約110点を、3期に分けて紹介します(各期総入替)。

☆展示は大きく2つのコーナー。

- 1 〈美人雪月花 - 映えます! 魅せます!〉四季の自然の美に女性たちの艶やかさを重ねて、冬(雪)や夜(月)や春(花)の景色にお洒落美人の魅力がいつそう映えます。
- 2 〈美人そうそう - 盛ります! キメます! よそおいますます!〉華麗な衣装に身を飾り、粋に着こなし、優美の基本はお化粧からと、女性たちのよそおう姿を描きます。

☆まことに美人勢揃い。江戸の人々をときめかせた浮世美人たちの華やぎを、どうぞご覧ください。

〈出品作品〉 歌川国貞約70点 溪斎英泉約20点 歌川国芳6点 その他歌川広重、房種など。



溪斎英泉《美人春の風》
木版・紙 大判錦絵三枚続

〔中期展示：12月22日(火)～1月17日(日)〕

春満開の八重桜。映える粋筋の三人娘。吹き来る風裾を抑えるポーズも三者三様。動感あふれる華やかな画面に魅せられます。



歌川国芳《(雪と娘)》
木版・紙 大判錦絵縦
二枚続 〔後期展示：1月
19日(火)～2月14日(日)〕

歌川国貞
《江戸新吉原八朔白無垢の図》
木版・紙 大判錦絵三枚続

〔前期展示：11月21日(土)～12月20日(日)〕

8月1日は白地の衣装をまとう遊郭の特別日。着飾る花魁のキメ姿が、遠近を強調して描かれています。



歌川国貞《夜の桜姿の花競》木版・紙 大判錦絵三枚続
〔後期展示：1月19日(火)～2月14日(日)〕



歌川国貞《今風化粧鏡 口紅をさす女》1823年頃
木版・紙 〔前期展示：11月
21日(土)～12月20日(日)〕

日本の美

日本画 ――景趣、余情、うつくし、をかし

日本の伝統的な美意識を反映する3つのテーマを取りあげてご紹介します。

- 1 四季を詠む、景趣をあはれむ
四季おりおりの景色に感じられる趣が表現された作品
- 2 沈黙を聴く、余情を味わう
表現されたものの背後に、高い精神性、崇高性が感じられる作品
- 3 「うつくし」を愛で、「をかし」を楽しむ
かわいらしい主題やユーモラスな表現など、「ずらし」の感覚を楽しむ作品

＜出品作品＞ 一部展示替えを行い、前後期あわせて約30点の近現代の日本画を展示。主な出品作家は、竹内栖鳳、小茂田青樹、堂本印象、岩橋英遠など。



松岡映丘 《花のあした》
1933(昭和8)年 絹本彩色・軸

〔前期展示：11月21日(土)～1月11日(月)〕

春眠暁を覚えずといった感じで、ぼんやりと庭を眺めるしどけない姿の女性が描かれています。やまと絵の伝統を生かし、当代の風俗を典雅な気品に満ちた作品に仕上げた、松岡映丘による優品。春の情趣を表す作品としてご紹介します。



下村観山 《陶靖節「見南山図」》
1919(大正8)年 絹本彩色・軸

〔前期展示：11月21日(土)～1月11日(月)〕

陶靖節は、中国六朝時代の詩人。真理を見つけたように思われるが、言葉にしようとするすとすり抜けていくという詩を題材にしています。近代日本画の巨匠、下村観山と横山大観が競作した双幅のうちの1幅。後期は大観の作品を展示します。



片岡球子 《葛飾北斎》
1976(昭和51)年 紙本彩色・額

はじめは帝展で落選を重ねた片岡球子ですが、研鑽を積み、個性的な作風が高く評価されるようになりました。

葛飾北斎像の背景には、北斎が描いた《龍図》が描かれています。うねる龍の姿は、北斎が発するオーラのようなのです。見る者に強烈な印象を与える作品です。

日本の美

ガラスに見る和の世界

現代の私たちにとって身近なガラスは、日本では江戸時代以降に広まった比較的新しい素材です。300年余りの歴史の中で日本の伝統美と結びついたガラスの世界を、4つのテーマに分けてご紹介します。

- 1 日本のガラスの黎明
ガラス細工などが描かれた浮世絵、江戸時代から近代にかけての素朴な味わいのあるうつわ
- 2 生活に寄り添う
伝統的なモチーフや文様、器形を取り入れた日用のうつわや茶道具
- 3 飾りのガラス
藤田喬平の「飾筥（かざりばこ）」を中心に、装飾性豊かな作品
- 4 日本の現代ガラス
ガラス・アートの新たな世界を切り拓く現代作家

<出品作品> 江戸から明治の和ガラス、岩田藤七、藤田喬平ら近現代のガラス工芸、伊藤孚、扇田克也、米原眞司ら現代のガラス・アートなど。合計50点程度。



藤田喬平《飾筥・源氏物語》1983年

東京生まれの藤田喬平(1921-2004)は、東京美術学校(現・東京藝術大学)の工芸科彫金部に学び、その後ガラスという素材に魅せられガラス作家に転向。「飾筥（かざりばこ）」シリーズで国際的に知られるようになりました。この作品もそのシリーズの一点で、色ガラス粒と金、銀の箔を装飾に用いています。これら一連の作品は、江戸時代の美術家・依屋宗達や尾形光琳の作品を思わせる華やかさを備えています。

岩田藤七《茶碗・銀河》

岩田藤七(1893-1980)は、日本のガラス工芸作家の嚆矢として、戦前戦後を通じてガラス工芸界の指導的地位にありました。藤七は、1939年の個展で、いち早くガラスによる茶道具を発表しました。これは、ガラスの可能性を拡げようという藤七の強い意志を映し出しています。本作は、銀色の地に、水色と紺色のガラスを被せ、夜空に広がる銀河を象徴的にあらわしています。



日本の美

関連事業

○ミュージアム・トーク

当館学芸員が作品の魅力語るひととき。作品のなりたちや制作意図、裏話などを、スライドを交えてご紹介します。日曜日の昼下がり、30分のミュージアム・トークで美術作品の深く広い世界に触れてみませんか？



日曜日 14時～（30分程度）会場：展示室A 観覧券が必要です。

※新型コロナウイルス感染防止予防の観点から、定員は5名程度とさせていただきます。

[2020年]

11月22日(日)
担当：大石智子（学芸員）
内容：「日本の美 日本画鑑賞ポイント」

11月29日(日)
担当：瀬戸厚志（学芸員）
内容：「藤田喬平 飾篁の世界」

12月6日(日)
担当：大石智子（学芸員）
内容：「日本の美 日本画鑑賞ポイント」

12月13日(日)
担当：瀬戸厚志（学芸員）
内容：「小林英夫 江戸切り子の美」

12月20日(日)
担当：星野靖隆（学芸員）
内容：「竹内栖鳳 動物表現をめぐって」

12月27日(日)
担当：齊藤千鶴子（主任学芸員）
内容：「刹那か、永劫か。
－『日本の美』に通底する際と淵の魅惑」

[2021年]

1月10日(日)
担当：田村允英（学芸員）
内容：「オルリクと日本、あるいはドイツ」

1月17日(日)
担当：星野靖隆（学芸員）
内容：「浮世絵に描かれたガラス」

1月24日(日)
担当：野田佳奈子（学芸員）
内容：「淡島雅吉のしづくガラス」

1月31日(日)
担当：地家光二（上席専門員）
内容：「シャガールの世界」（予定）

2月7日(日)
担当：田村允英（学芸員）
内容：「オルリクと日本、あるいはドイツ」

2月14日(日)
担当：大下智一（学芸企画課長）
内容：「岩橋英遠 《石》」

[同時開催]

この1点を見てほしい。

マルク・シャガール 《パリの空に花》

2020年11月21日(土)～2021年2月14日(日)

展示室A 2階

当館コレクション約5,400点の中から、学芸員が1点を選び、多角的な研究を通して、作品の奥深い魅力をご紹介します。

今回の1点は、エコール・ド・パリの作家 **マルク・シャガール**の《**パリの空に花**》です。

展覧会情報／お問合せ

展覧会名／近美コレクション 日本の美

同時開催／この1点を見てほしい。（マルク・シャガール 《パリの空に花》）

会 期／2020年11月21日（土）～2021年2月14日（日）

会期中、浮世絵の総入れ替えを2回、日本画の一部の展示替えを1回行います。

浮世絵 前期：11月21日(土)～12月20日(日)

中期：12月22日(火)～1月17日(日)

後期：1月19日(火)～2月14日(日)

日本画 前期：11月21日(土)～1月11日(月)

後期：1月13日(水)～2月14日(日)

開館時間／9:30 -17:00（入場は16:30まで）

休 館 日／月曜日（ただし11月23日、1月11日を除く）、11月24日、12月29日～1月3日、1月12日

観 覧 料／一般510（420）円、高大生250（170）円

※（ ）内は10名以上の団体料金

※無料になる方：65歳以上、中学生以下、障害者手帳をお持ちの方など。

高校生は毎週土曜日ならびに学校の教育活動で利用する場合は無料。

※特別展「諸星大二郎展」〔2020年11月21日(土)～2021年1月17日(日)〕との共通券は

一般1300円、高大生650円

主 催／北海道立近代美術館

後 援／札幌市、札幌市教育委員会

ア ク セ ス／地下鉄＝東西線、西18丁目駅下車、④番出口から徒歩5分

JRバス、中央バス＝道立近代美術館バス停下車、徒歩1分

提携駐車場＝ビッグシャイン88北1条駐車場（北1条西15丁目、美術館から徒歩5分）。当館で駐車券に押印してください。入場後20分まで無料。以降20分ごとに130円。（障害者割引：精算前に、ビッグシャイン窓口で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を提示すると、1時間無料になります。その他の割引との併用不可。）

ご来館の皆様へ 新型コロナウイルス感染拡大防止についてお願い

- 発熱や体調不良等の症状のある方はご来館をお控えください。 ●ご入館の際は、「マスク着用」、「手指消毒」、「検温」をお願いします。
- 混雑時には入館にお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。 ●来館者や職員に新型コロナウイルスの感染者が発生した場合にその事実をお客様へお伝えするための「連絡先登録」にご協力をお願いします。

【お問合せ先等】

北海道立近代美術館

HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART

〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目

電話番号 011-644-6882 テレフォンサービス 011-612-7000

ホームページ／ <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/knb/>

Facebook／ <http://facebook.com/dokinbi>

Twitter／ <https://twitter.com/dokinbi>



QRコードを読み込むと、
北海道立近代美術館HPへ
ジャンプします。